参　考　配　布

平成２２年１０月２６日
総　務　省　消　防　庁

件名

ガステーブルのグリル火災にご注意を！

～ 秋（９月～11月）に最も多く発生 ～

標記の件について次のとおり情報提供がありましたので、参考配布いたします。

１　【消防本部名】
東京消防庁（東京都）

２　【発 生 日 時】
最近の１０年間

３　【発 生 場 所】
東京消防庁管内

４　【事案の概要】
別紙のとおり

５　【そ　の　他】
本事案の詳細に係るお問い合わせは、各消防本部へお願いします。

（担当）
消防庁総務課広報係
担当：御手洗係長・根来事務官
電話：０３－５２５３－７５２１
ＦＡＸ：０３－５２５３－７５３１

報道発表資料

東京消防庁　Tokyo Fire Department

平成２２年１０月２５日

ガステーブルのグリル火災にご注意を！

～　秋（９月～11 月）に最も多く発生　～

ガステーブルを起因とした火災は、天ぷら油火災だけでなく、魚などを焼いている最中にグリルから出火する火災があります。このグリルから出火する火災は、最近 10 年間で 637 件発生しており、当庁では、ガステーブルのグリルの取扱いについて注意を呼びかけています。

【火災発生状況】

●最近 10 年間でガステーブルのグリルから出火した火災（以下グリル火災）は、637 件で、死者２人、負傷者 163 人の死傷者が発生しています。季節別でみると、秋（９月～11 月）に最も多く発生しています。

●天ぷら油火災は減少傾向にありますが、グリル火災は年間 70 件前後を推移しています。

●本年は、９月 30 日現在で 26 件発生し、８人の負傷者が発生しています。

【出火原因】

●グリル火災は、調理中にその場を離れたり、調理しているのを忘れてしまったため、食材や油かすが過熱し、排気口から噴出した炎により火災となっています。また、グリルの受皿に水を入れずに使用したり、清掃不良のまま使用していた等の状況が多くみられます。

【火災を防ぐために】

１　グリルは、こんろ部分と違い炎が見えないので使用していることを忘れやすく、また、消し忘れた際に自動的に消火する装置が付いているものもありますが、使用中はその場を離れないようにしましょう。

２　受皿に水を入れて使用する製品の場合、水を入れずに使用すると、魚等から出た油が受皿に溜まって出火する場合があるため、取扱説明書に従って所定の水量の水を入れて使用することが重要です。

３　市販されているグリル用の敷石を使用する場合は、取扱説明書に従って使用し、敷石の使用状況により適切な交換が必要です。

４　清掃不良のまま使用すると、グリル内に付着した油かす等に着火して出火し、油かすが燃焼を拡大させる場合があるため、こまめな清掃が必要です。

※　詳細は、別紙資料を参照してください。

※　実験映像と火災の事例写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問い合わせ先

東京消防庁（代）　電話 3212-2111

予防部調査課　内線 5062　5066

広報課報道係　内線 2345～2350

【別紙】

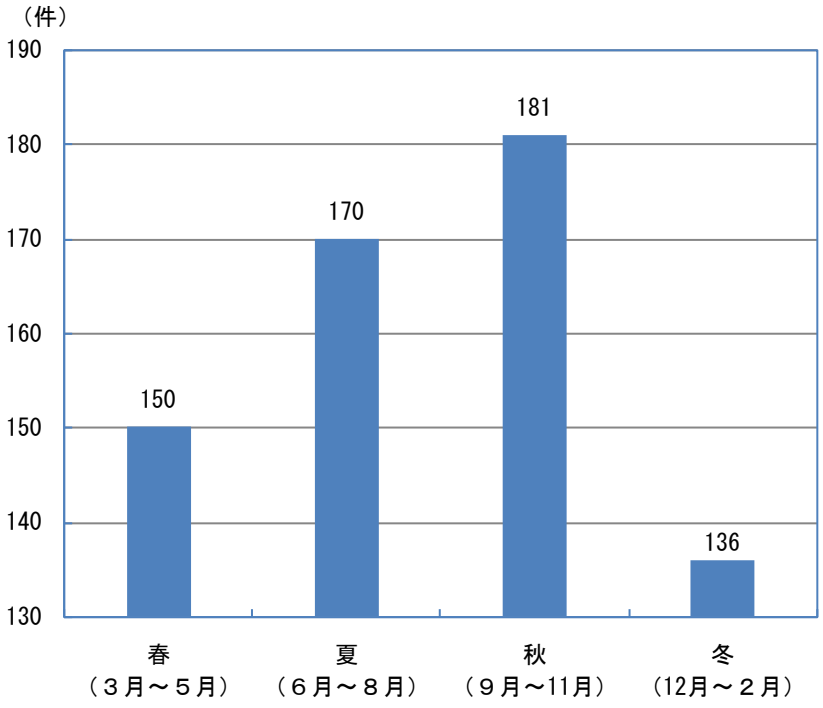
1　グリル火災状況（平成 12～22 年）

年	火災件数					焼損床面積	焼損表面積	損害額（千円）	死者	負傷者
	建物									
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや					
合　計	637	6	12	100	519	1,573	750	242,774	2	163
平成 12 年	46	1	2	8	35	269	131	32,308	－	12
平成 13 年	60	1	2	12	45	238	153	47,266	－	18
平成 14 年	54	1	1	7	45	162	43	26,841	－	16
平成 15 年	63	－	2	12	49	166	27	31,205	2	15
平成 16 年	73	1	2	14	56	219	105	48,356	－	16
平成 17 年	77	－	2	11	64	125	94	16,262	－	15
平成 18 年	66	－	－	9	57	22	41	4,635	－	18
平成 19 年	70	－	1	10	59	94	52	11,778	－	16
平成 20 年	66	2	－	13	51	252	87	21,593	－	22
平成 21 年	62	－	－	4	58	26	17	2,530	－	15
平成 22 年	26	－	1	4	21	53	14	4,035	－	8

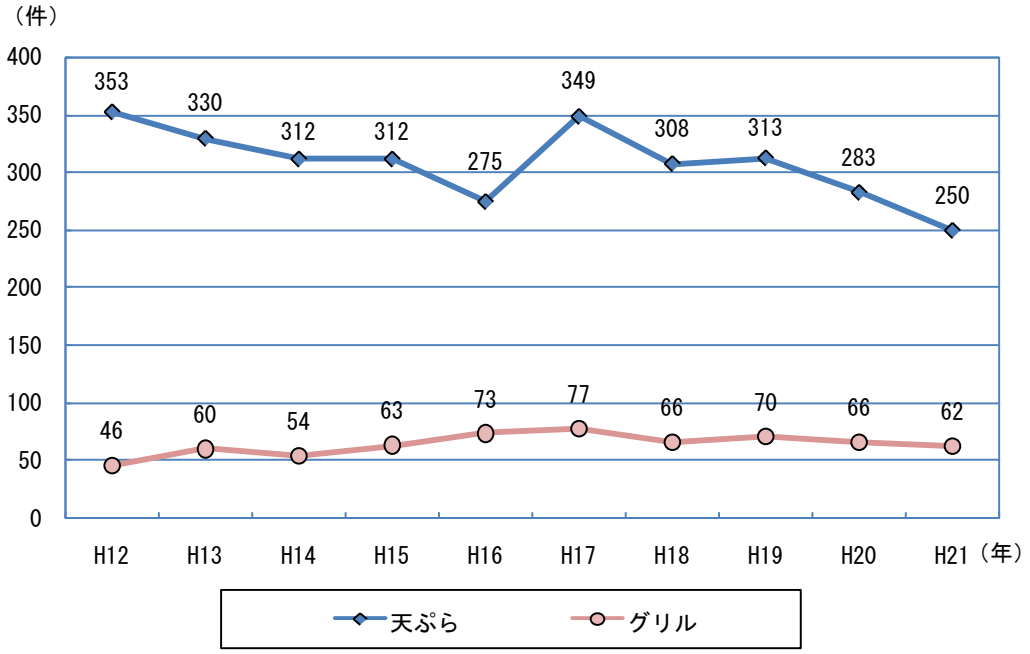
※1 合計欄の数値は、平成 12 年から平成 21 年の合計値です。

※2 平成 22 年の数値は 9 月 30 日現在の速報値で、後日変更される場合があります。（以下同じ。）

2　季節別グリル火災件数（平成 12～21 年）



３　天ぷら油火災とグリル火災件数の推移（平成 12～21 年）



火災事例「グリルを使用中に外出して出火した火災」

発生場所　足立区

出火日時　平成 22 年１月９時ごろ

用 途 等　住宅　準耐火造 3/0 延 95 ㎡

被害状況　建物半焼１棟、部分焼１棟、ぼや２棟、傷者２人

概要

この火災は、住宅の１階台所から出火したものです。

出火原因は、居住者の女性がガステーブルのグリルで鮭の切り身を焼いていたのを忘れて外出したため、グリルの火が鮭の油に着火し出火したものです。

発見は、通行人が火元建物１階の換気扇から黒い煙と炎が少し出ているのを発見し、火元建物北東側のガソリンスタンドへ火災を知らせ、ガソリンスタンドの店員が 119 番通報しました。

初期消火は、ガソリンスタンドの店員２人が協力し、ガソリンスタンド内の消火器７本を使用して初期消火しましたが、消火できませんでした。

この火災により、初期消火に従事した２人が負傷しています。

写真１　出火したガステーブルの状況

写真２　グリル内の焼損状況

【グリル火災の実験映像】

焼き魚を調理中にグリルを消し忘れ、出火に至る状況を実験したものです。

1　食材に着火した状況

2　火災最盛期の状況

3　グリル内部の状況